

第1分科会テーマ

「持続可能な地域づくりの担い手となる若者や女性が活躍できる社会の構築」

「『新庄・最上ジモト大学』で楽しく学ぶ。～ヒト・モノ・コト、地域全体が学びの土壌」

一般社団法人とらいあ 専務理事 高橋一枝

(新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム事務局)



令和3年度ジモト大学
ポスター

1. はじめに

一般社団法人とらいあとは：当団体は、平成19年任意団体として誕生し3年後の平成22年9月、非営利型法人「一般社団法人とらいあ」となった。「郷土を愛し、次世代につなげる学びのまちづくりを目指して」をキャッチフレーズに、地域とともに学びのネットワークづくりを推進してきた。図書館をはじめとする公共施設等の管理・運営事業を柱に、学びによる人材育成事業受託などの経験を十分に活かし、行政や関係機関との連携を図り、人づくり・地域づくりに貢献してきた。「とらいあ」の名称は、「家庭・学校・地域の学びのネットワーク、連携協働の三角形、三方良し、挑戦する人、地域のために常に努力を忘れない」に由来する。

2. 新庄最上ジモト大学について

(1) ジモト大学とは 『新庄・最上ジモト大学』は「高校生と地域の大人が本気で語り、学び、交流する場」として、最上地域全体がキャンパスとなり、平成29年に開校した。そもそも最上地域には大学等の高等教育機関がないこともあり、卒業すると同時に多くの高校生がこの地域を離れていく。部活動や学校の授業で多忙な高校生に、少しでもこの地域の課題や魅力を知り、地域の大人と繋がる機会を提供したいと、行政、高等学校、企業、団体等が地域一体となって推進している。新しい学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」を重視しており、高校生が主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、将来の定住や地域の中核となる人材育成を図ることも、ジモト大学の大きなねらいである。

(2) 推進体制 平成29年度に官民協働事業として事業化され、さらに平成31年3月には、市町村、県、管内高等学校、大学、経済団体などの22団体で構成されるコンソーシアム体制となった。令和3年度からは、行政区を超え村山地域の尾花沢市等も取組に加わり、25団体となっている。また、県と私たちとらいあで構成される官民協働の事務局の運営は全国的にも珍しく、官の牽引力、民の柔軟でユニークな発想と幅広いネットワーク、お互いの強みがシナジーとなって今年度で5年目を迎えることができた。

3. 具体的な取り組み

(1) カテゴリ ジモト大学のプログラムはそのコンテンツで大きく三つに分類される。仕事を意識し、内容ややりがい、その仕事に就くための方法などいろんな職種にふれることができる「キャリア型プログラム」、体験することで、最上地域の食や文化 歴史を知ることができる「体験型プログラム」、地域の課題を見つけ、そこに自分は何を考え、関わりどう動いたらいいのかを考えて、自分を知る、活動を通して地域を知る「課題発見型プログラム」にカテゴリ化している。

(2) 具体的なプログラム (昨年度)

①キャリア型 「Jump in your dream ～本当の大学生活をまだ君は知らない～」(提供者：AgasukeHouse(山形大学で活動している学生団体)) 新庄・最上地域には高等教育機関がないため、高校生は大学進学イメージを持ちにくい。オンラインで大学生とのリアルな対話を重視し、大学受験や大学生活についてのイメージを膨らますとともに高校卒業後の地元とのかかわりを考えた。

②体験型 「まちなかペイント大作戦」(提供者：glassydesign(新庄市内のブランディング・デザイン事務所)) ペイント(アート)を通して地域の人たちが一体となり、楽しく元気に町を盛り上げる。高校生が企画から入り、ペイントする場所を決め、交渉し実施運営した。多世代の地域の方が利用している図書館駐輪場壁に140名を超える参加者が一緒にペイントを行った。



令和2年度 まちなかペイント大作戦

③課題発見解決型 「新型コロナに負けるな！みんなを元気にする「てれ・ぼら」プロジェクト」(提供者：最上教育事務所社会教育課) 地域活動に興味関心を持つ中学高校生が、青年ファシリテーターのアドバイスにより、SNSを介して地域情報を発信する。それにより、地域における絆とボランティア活動の輪を広げた。地域に出て実際に取材を行い、情報モラルの学習をしたあとジモト大学FACEBOOKに投稿し、話題を集めた。

(3) プログラム勉強会とフォーラム プログラム勉強会は、大学の先生を講師として開催。高校生がこれからの時代を生き抜く力(主体性・協働性・社会性・探究性)を学ぶプログラムとなるようにするため、プログラム提供者や関係者の勉強会を年1回以上行っている。あわせて、高校生とともに考え学ぶことができる地域の大人のネットワークづくりとなっている。また、フォーラムは高校生の探究発表の場、プログラム提供者の事例発表、多世代の地域の方との高校生のワークショップによる対話など、1年間のリフレクションと交流の場である。昨年とはどちらも、オンライン開催となり初めてのことばかりであったが、今後様々な可能性や方向性につながったかと思う。

(4) 地域側の協力と学校との連携 ジモト大学の情報を丁寧に伝え、各高校の生徒に平等かつ円滑に参加してもらうために、各学校を会場にジモト大学説明会を開催した。これは、県の担当事務局の調整があり、学校の協力があって5年目にしてはじめて管内高校のほぼすべての学校に行くことができた。今年度さらに進化したことは、プログラム提供者も一緒に学校に伺い、プログラムを説明したことである。このためにPV動画の作成、画像での紹介など、プログラムの魅力を存分に伝え、アプローチすることができた。また、高校生が円滑に参加申込のできるよう、地元の企業が協力開発したWEB申し込みシステムではパンフレットでは書ききれないプログラムの情報発信や参加状況の把握がリアルタイムでできるものとなっている。生徒のとりまとめや連絡手段等、事務局業務の簡素化にもつながっている。



高校を会場としたジモト大学説明会

4. 活動等の成果

(1) 高校生の動き：この4年間で96プログラムの実施、そこに参加した高校生は延べ1789名となった。世代を超えた交流、他校の生徒や多様な地域の大人と繋がることのできるジモト大学はコロナ禍の今年度も、オンライン、リアルとその時の状況に応じて常に学びを止めずに展開している。5年目の今年度は、尾花沢キャンパスも加わり36プログラムが実施予定である。最上管内の高校生はもちろん、北村山地域の高校生との相互交流も期待される。何気なく道端であらう高校生が「今日これからジモト大学さいってくる」など、そんな会話も聞かれるようになった。私たち、とらいあが新庄市内の社会教育施設2館を指定管理していることも相まって、高校生との信頼関係も築かれつつある。今年度は卒業生が、ジモト大学に恩返ししたいと大学のボランティアサークルとして、防災プログラムを提供してくれることとなった。そんな繋がりが後輩たちに引き継がれ、高校生の自走も始まっている。高校生のやりたい、地域のやりたい情報がそっと入ってくる、相談されるなど、とらいあが、より身近な存在となっている。地域で活動した高校生が、将来の地域の担い手に育つことも期待したい。

(2) 地域の動き：ジモト大学では地域の大人が提供者としてプログラムに関わっている。プログラムに参加した高校生からのアンケートをもとにリフレクションをおこない、プログラムをよりよく提供できるよう、プログラム提供者の地域部会も立ち上がった。さらに高校生の自走を安心安全に活動できるようサポートしながら、大人たちもともに学んでいこうと「最上マイプロジェクト推進運営委員会」が生まれた。そして、大人たちも自分たちの住んでいる地域の魅力や課題を再発見し、地域振興、地域づくりに関わる機会やコミュニティが生まれてきていることも、ジモト大学の大きなリターンと感じている。



最上マイプロジェクト推進運営委員会オンライン勉強会チラシ

5. 今後の課題

新庄最上及び尾花沢管内の多くの高校生が地域で安心安全に学び、活動できるようにするためには、学校と地域がさらに連携協働しやすいコーディネートやそれができる人材が必要と感じている。また、高校生や地域のやりたいことが集まって、活動の起点となるような、活動交流拠点の整備充実が今後の大きな課題である。

新庄・最上地域から学校が消滅しないように、子どもたちがいなくならないように、そしてまちが消え失せないように、多角的に、地域全体で取り組んでいくことが急務であると考えている。「学校・地域・家庭」との信頼関係を構築しながら丁寧につなぎ、実直に進めてきたとらいあである。まだまだ進行形であるが、点と点がいつか線となり面となる、そんな地域づくりを目指さなければと、ジモト大学を通して、日々学び続けたいと思う。そして子どもたちが高校に進学したときに、スムーズに自身のマイプロジェクトが自走できるように、小学校、中学校から探究学習やふるさと学習を支える、地域総がかりで取り組める体制づくりを推進していきたい。高校生も地域の大人もその先の未来に向かって、常に学び成長し、前に進んでいけるように…。



令和元年度 Next Action～一歩踏み出す、今日がその日～(提供者: AgasukeHouse)

大人と高校生のグランドルール！ ☑ジモトのことをよく知ろう！ ☑もっと自分から積極的に語ろう！ ☑ともに本気で学ぼう！ 合言葉は、ジモト！！ 今日笑顔で元気に、新しい素敵な出会いが、ジモト大学で待っている。